

2022 年 12 月 25 日 (日)

中国新聞 SELECT 掲載

隊次：2006-1 次隊

氏名：中林 樹理さん

派遣国：タイ

職種：養護



国際協力機構(JICA)の海外協力隊の現職教員特別参加制度を利用し、タイのチョンブリろう学校にかつて赴任した。当時の私は、広島県内のろう学校で教員をしていて、職場に張ってあった隊員募集のビラを見

JICA
だより



タイ
(2006年～08年派遣)
中林樹理さん(47)
広島市南区

て興味を持った。
「外国で私自身がどこまで通用するのか試したい」「自分の得意なことを現地の人の生活に役立てたい」という思いから参加を決めた。赴任して驚いたのは、小さな頃から親元を離れて

「助け合う」大切さ胸に

寄宿舎に入る子の多さである。タイ国内でろう学校の数が少ないためだ。現地には資機材も足りておらず、機器の活用方法を教え

にきたはずなのに、機器そのものが赴任先にはなかった。悔しさも味わった。初めの頃は、タイ語の拙さに加

え、私の情熱がタイ人同僚の理解を得られず、活動がスムーズにいかなかった。話し合ってもなかなか改善されず、もどかしい日々を送っていた。そんな時、私

を癒やしてくれ、援助を実践していくにつれ、理解してくれる同僚が増え、質問もしてくれるようになった。1人暮らしの



え、私の情熱がタイ人同僚の理解を得られず、活動がスムーズにいかなかった。話し合ってもなかなか改善されず、もどかしい日々を送っていた。そんな時、私を癒やしてくれ、援助を実践していくにつれ、理解してくれる同僚が増え、質問もしてくれるようになった。1人暮らしの

タイのろう学校で授業する筆者(奥左)